

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 25 年 6 月 11 日(火)
地区/会場 豊浜西小学校区/豊浜西小学校 1 階会議室
参加者 14 人



《質問・意見》

外宮周辺も段々と賑わってきているが、通りに面した場所に若干老朽化した建物が残っているため、観光客が見た時にどのような印象を持つのか心配している。式年遷宮には間に合わないが、今後、どのように整備していくか議論をしていただきたい。

《回答》

景観を良くする対策は必要であると思われるため、商工会議所や観光協会などの関係機関と議論を進めていきます。

《質問・意見》

高齢者が地域で安心して暮らせるように、認知症対策の充実と成年後見制度についての市民の認知度が低いのでPRを進めていただきたい。

また、防災面について、講演会の開催など防災力のスキルアップを図るような取組を考えているのか聞かせてください。

《回答》

認知症対策や成年後見制度のPRは、重要な課題と認識しています。

認知症対策について、伊勢病院と連携して進めていきたいと思っています。

防災については、現在、防災公園や津波避難タワーの整備など、ハード面の整備を急ピッチで進めています。

整備が遅いというご意見もあると思いますが、東日本大震災では避難所に逃げた方が流されたケースが沢山ありました。これまで全国の多くの自治体は、お寺などの公のような施設までも避難所と考えていたようですが、それではだめだと思い、三重大学の川口准教授に協力していただき、きちんとした避難の仕方やどれだけの避難所が必要なのかを検討するプロセスを経たため、遅くなっています。今後はソフト面も含めて、進めていきたいと考えています。

なお、これまで市では防災に関する講習・訓練のため、自衛隊のOB1名を配置していましたが、さら

に消防のOB1名を増員して、防災に関する講習等の機会を増やせるように努めています。

《質問・意見》

磯町の津波避難タワーについて、今一色のタワーは3階建てのようだがどのように考えているのか。また、階段になっているが逃げ遅れるのは高齢者が多いので、階段を昇るのは無理ではないか。さらに、もう1点は、災害時は必ず天候が悪くなると思われるので、屋根は設置しないのか聞かせてください。

《回答》

沿岸部の方々とお話をさせていただくと、できれば大紀町錦のようなタワーを作ってほしいという声を聞かせていただくが、現在のところあのような規模のタワーは難しいと考えています。

市としては、磯町は周囲に高い建物が無いことから避難困難地と考えて、津波避難タワーの整備を進めさせていただき計画であり、今月には地区の役員の方と協議させていただき予定です。

タワーの高さについては、市が想定している磯町の津波の高さは、県の想定をもとに約2m～3mの浸水があると考えて対策を進めています。また、タワーの形状については、すべて対応できるかわかりませんが、地元の意見を聞きながら設計を進めていきたいと考えています。

《質問・意見》

予算は、どの程度を考えているのか。

《回答》

これから、場所の選定を進めていく段階であり、予算は決まっていません。

参考までに、大湊町は磯町と規模が違いますが、1,500人くらいの施設を想定し、約1億円から2億円程度と見込んでいます。

《質問・意見》

清掃工場の件でお聞きしたいのですが、施設の耐用年数が過ぎていると思うが、今後何年間、あの場所で稼働するのか、度会町や明和町などと仲間でやっているのだから、どこかへ移転するのかなど、情報が地元に入っていない。地元が黙っているからほっておくのではなく、議論を進めていただきたい。

また、東北のゴミは清掃工場へ持ち込まなかったが、紀宝町の水害のゴミは持ち込んだと聞いている。

どの程度の量であったのか。地元が協力したにも関わらず、情報が知らされていないばかりか、感謝の言葉もないのではないかと。

それと、市民病院の候補地を検討するなかで、豊浜地区が病院の環境に適さない土地と新聞にでていた。そんな馬鹿なことはないと思うが、非常にがっかりしている。できれば、清掃工場周辺へ北浜・豊浜中学校と市民病院が来てほしいと思っていたのに残念に思っています。

《回答》

まず、清掃工場への紀宝町のゴミの受け入れに関して、お礼を申し上げなかったことについて、お詫び申し上げます。受け入れたゴミは、水害ということで水分を含んだ量が非常に多かったと聞いています。

清掃工場の今後の方針については大きな課題ですので、関係町と議論を進めさせていただきます。

伊勢病院に関することについては、関係者による検討委員会で宮川に架かる国道・県道の橋が、実際には耐震補強がされているのに、宮川左岸では地震によって橋が崩落したらどうするのかとの議論がありました。宮川左岸が、自然環境などで適さないという議論ではありませんでしたので、ご理解いただきたいと思います。

《質問・意見》

今、新聞・テレビで伊勢神宮が大きく取り上げられています。

一過性のものにしないようにしなければならないと市長は言われましたが、その原因は、神宮を文化として捉えているからと思われまます。そのため、神宮の歴史を市として取り組むべきではないか。

小学校の副読本でも神宮のことは取り上げていないようであり、伊勢市が取り組まなくてどこが取り組むというのか。歴史を学ぶことによって、神宮の良さが分かると思うので、よろしくをお願いします。

《回答》

わかりました。ありがとうございます。

小学校の体験学習でも神宮へ行っているようであり、徐々にではあるが、歴史を学ぶ環境は整ってきたと思っています。

《質問・意見》

豊浜東地区の中学生が、県道に出るまでに 300mほどの農道を通っているが、クラブ活動を終えて帰る時など、暗い道で危険であるため、防犯灯の設置をお願いしたい。

また、小学校周辺の道路で幅が狭い区間があり、高校生が自転車で通るときに危険であるため、道路幅を広くするように検討していただきたい。

《回答》

道路の整備については、順次改善を進めさせていただきたいと思っています。

また、道路の交通安全上で必要な照明灯は、道路を管理する行政が負担させていただきますが、防犯灯は、市が半額補助するものの地元自治会に電気代等を負担していただいています。

そのため、子供たちのことでお気持ちはよく分かりますが、地元自治会とご相談していただきたいと思っています。

《質問・意見》

災害の問題についてお尋ねします。私たち住民は、災害発生後に避難した場合には、市とどのように連絡を取ればよいのか教えていただきたい。

また、災害後には最初は義援金などが多く集まると思われるが、時間が経過すれば義援金等も少なくなり、復興するための費用が不足すると思われまます。市の税収も落ち込むと予想されるので、どのようにして費用を集めてくるか。

私が考えるには、ふるさと納税で全国の伊勢市出身の方に支援をお願いすることが重要であると思っています。中学生・高校生は、地元に残る人もいるが、伊勢を離れて生活する人も多いと思うので、将来、伊勢の手助けをしようと思ってもらえるように、地域と関わりを持つようなことを何かされているのか教えていただきたい。

次に、情報発信のことについて、市ではケーブルテレビ行政チャンネルの番組をYouTube(ユーチューブ)に掲載しているが、市長の記者会見も掲載することを考えてほしい。

《回答》

記者会見の動画を掲載することについては、検討させていただきたいと思います。

次に、中高生の地域との関わりについては、行政が担う部分と地域に担っていただく部分があると思っています。今、小学校区を単位とした地区みらい会議という地域のコミュニティづくりを進めていますが、子供たちが地域と関わりを持つためには、地区みらい会議が大事であると思っています。

災害時の連絡方法としては、電話が通じるのであれば、まず電話で市役所と連絡を取っていただくこととなります。電話が使えない場合には、防災行政無線で相互通信が可能となっているので、防災行政無線を利用して連絡していただくこととなります。

《質問・意見》

市では、地区みらい会議を小学校区単位での設立を進めていて、設立されていないのは豊浜西地区など少しだと聞いています。

新しいまちづくりということで、各区長さんには説明されていますが、それ以外の方には知られていなくて、今後、説明していくことになるとしていますが、地区みらい会議が、本当にメリットがあるのか、各区長も疑問を感じていると思うし、私自身もまだ疑問を感じています。

最終的には、すべての学区で設立されることとなると思いますが、もう少し説明をしていただきたいと思います。

《回答》

地域コミュニティの枠組みは、時代とともに変化していくものであり、時代に合ったように変えていくべきであると思っています。今後、少子高齢化の時代となり人口が減少していくなか、自治会も従来どおりの活動ができなくなっていくことが考えられます。現実には、組長も決まらない、回覧板も回せないという自治会があると聞いています。

そのように、人の生活が変化していくなか、みんなで助け合っていく枠組みを、いかに作っていくかが大事であると考え、また、行政が住民の方々の困っていることや課題を、すべて対応していくことは困難であると考えて、地域の新たなコミュニティの枠組みとして、地区みらい会議の設立を進めています。

ただし、地区みらい会議を設立すれば、良い事ばかりだとは思っていません。何かの制度を変更する場合には、良い事も悪い事も出てくるものと思っていますが、地区みらい会議を設立することにより、地域の課題、たとえば、沼木地区では買い物に行く交通手段が無いという課題があり、地域でバスを運行するので経費のサポートを市でお願いしたいということがありました。この地域でも、防災対策については自治会ごとに行うよりも、広域的に取り組んだほうが良いと考えれば、市へ支援を要請しながら事業を進めていくなど、地域の課題を解決していくことが、1つのメリットであると思っています。

もう1つは、それぞれの地域の歴史や伝統文化という財産を、もう一度、磨きなおして次の世代へ繋げていくことも必要であると思っています。

これら、地域の課題を解決すること、地域の伝統を残して、できれば観光資源として活用しコミュニティビジネスを展開していくことなどの取り組みができることが、メリットであると考えています。

《質問・意見》

この地域は、区長を中心に進めているが、区長が1年で交代するため組織的に難しい面があると思っている。

《質問・意見》

私が思うには、現在のように自治会長が1年で交代し、現状を変えたいと提案しても受け入れられない体制では、地区みらい会議は、豊浜地区にとって良いことではないと思います。

地区のみんなに、地区みらい会議の必要性を理解してもらい、区長を数年間続けていく体制ができて地域がまとまっていけば、上手く進んでいくと思います。

《質問・意見》

私の理解では自治会だけでやるのではないと思っているし、自治会長を1年で辞めても地区みらい会議の役員は続けてもらえばよいと思っています。

地区みらい会議は、自治会だけでなく関係する団体にも参加してもらい、地域を良くしていくことに焦点を当てて、市長が言われたように資源を掘り起こし、課題を解決していくことが大事です。地域には、骨を折ってくれる人、力になってくれる人がいると思うし、みんなの力を結集していくことが大切であると思います。

《質問・意見》

若い世代が、このような懇談会に参加していなく、自治会の役員でなければ参加しない状況である。

市内の祭り、イベントに市長は数多く参加していただいているが、この地域には市長を呼べるようなイベントなども少ないため、来ていただくことは難しいと思います。でも、来ていただければ若い世代とも話をする機会も増えると思うので、ぜひ来ていただきたいと思っています。

《回答》

わかりました。ありがとうございます。